

| | | | | |
|----------------------|--|-------------------------|--|----------------------------------|
| 科 目 名 | 医療コミュニケーション学 [科目番号：818120] | | | |
| 学 期 | 夏学期（前半） | 単 位 数 | 2単位 | |
| 曜日・授業時間帯 | 木曜5、6時限 | | | |
| 場 所 | 医学部・教育研究棟13階講義室 | | | |
| 担 当 教 員 | 木内貴弘 | | | |
| 授 業 の 目 的 | <p>本講義の目的は、医療コミュニケーションの理論と実践方法を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーションとは、医療従事者相互、医療従事者と患者間、患者相互等における医学・医療分野に関係した知識や情報のやりとりを意味する。医療コミュニケーションは、医学・医療と社会のインターフェイスとして、パブリックヘルス分野において、非常に重要な意味を持っている。従来、ヒト対ヒトのいわゆるヒューマンコミュニケーションを主体に考えられてきたが、現在では、これに加えて、インターネット、マスメディア、コンピュータ・ゲーム機等を介したコミュニケーションの意義・役割が増大している。</p> <p>本講義では、個人あるいは社会としての最適な健康上のアウトカムを得るために、医学・医療に関する知識・情報を、正確かつ効果的に伝達し、受け手に理解してもらうために必要な、(1)コミュニケーションの理論体系、(2)コミュニケーションの実務的方法論、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱うとともに、医療コミュニケーションの具体的な実践例の紹介と分析も行う（具体的な内容は下記の「授業計画及び内容」を参照のこと）。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p> | | | |
| 授 業 の 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各回1テーマの講義を行う。 ・ テーマに基づいた追加資料の配布や事例の紹介を行うことがある。 | | | |
| 授業計画及び内容 (各回のテーマ) | 回数 | 日時 | 内容 | 担当 |
| | 1 | 4月8日(木) 16:20-17:50 | I. 医療コミュニケーション学総論 コミュニケーション学入門 | 木内貴弘 |
| | 2 | 4月8日(木) 18:00-19:30 | I. 医療コミュニケーション学総論 医療コミュニケーション学概論 | 木内貴弘 |
| | 3 | 4月15日(木) 16:20-17:50 | IV. 対人・メディア総合 医療専門家相互のサイエンスコミュニケーション | 木内貴弘 |
| | 4 | 4月15日(木) 18:00-19:30 | IV. 対人・メディア総合 災害・緊急時のコミュニケーション | 青木則明 |
| | 5 | 4月22日(木) 16:20-17:50 | II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (2)-患者の立場から(その1) | 辻本好子 (COML) |
| | 6 | 4月22日(木) 18:00-19:30 | II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (3)-患者の立場から(その2) | 辻本好子 (COML) |
| | 7 | 5月6日(木) 16:20-17:50 | II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (4)-医療従事者のための医療コミュニケーションの実践法(その1) | 木内貴弘 石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター) |
| | 8 | 5月6日(木) 18:00-19:30 | II. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (5)-医療従事者のための医療コミュニケーションの実践法(その2) | 木内貴弘 石川雄一 (日本ヘルスサイエンスセンター) |

| | | | | |
|----------|--|-------------------------|---|---------------------------|
| | 9 | 5月13日(木) 16:20-17:50 | Ⅲ. メディアコミュニケーション マスメディアによるコミュニケーション(1)テレビ | 真崎理香 (NHK) |
| | 10 | 5月13日(木) 18:00-19:30 | Ⅲ. メディアコミュニケーション インターネット | 木内貴弘 |
| | 11 | 5月20日(木) 16:20-17:50 | Ⅲ. メディアコミュニケーション マスメディアによるコミュニケーション(2)新聞 | 小畑洋一 (読売新聞) |
| | 12 | 5月20日(木) 18:00-19:30 | Ⅳ. 対人・メディア総合 ソーシャルマーケティング | 木内貴弘 |
| | 13 | 5月27日(木) 16:20-17:50 | Ⅳ. 対人・メディア総合 医療コミュニケーション研究の方法論と臨床・教育への応用(仮) | 石川ひろの (滋賀医大) |
| | 14 | 5月27日(木) 18:00-19:30 | Ⅱ. 対人コミュニケーション 医療従事者・患者コミュニケーション (1)-医療機関の立場から | 北村聖 (東大病院総合 研修センター) |
| | 15 | 6月3日(木) 16:20-17:50 | Ⅳ. 対人・メディア総合 健康キャンペーン | 木内貴弘 草川衛 (公共広告機構) |
| | 16 | 6月3日(木) 18:00-19:30 | 試験 | 木内貴弘 |
| 教科書・参考書等 | <ul style="list-style-type: none"> • Athena du Pre. Communicating About Health: Current Issues and Perspectives, McGraw-Hill, 2004 • ピーター・G. ノートハウス (著), ローレル・L. ノートハウス (著), 信友 浩一 (翻訳), 萩原 明人ヘルス・コミュニケーション—これからの医療者の必須技術. 九州大学出版会. 1998 • Teresa L. Thompson, Alicia Dorsey, Katherine Miller, Roxanne Parrott (Editor) Handbook of Health Communication, Lawrence Erlbaum, 2003 | | | |
| 成績評価の方法 | 資料持ち込み可の試験による。尚、細部の知識を問うような問題は出題しない。 | | | |
| 他の授業との関連 | 医療コミュニケーション学は、公衆衛生学・医学・医療のあらゆる分野と関係しているが、健康社会学、健康教育学、老年社会科学、健康増進科学、医療安全管理学との関係が深い。 | | | |